司法 審理避ける

辺野古 訴え却下

県「無傷の負け」

国は〝連勝〟アピール

辺野古新基地建設工事海域の漁業権の有無を争った岩礁破砕許可裁判。裁判所は漁業権の有無、岩礁破砕許可の要否のいずれも判断しなかった。訴訟のテーブルに載せることができなかったという意味では県の敗訴だが、本丸の漁業権について何ら決着は付いていない。県幹部は「実質何も決まらなかった裁判だ。県の主張が全否定されたわけではない」と述べ、今後の展開に希望をつなぐ。一方国は、2016年の埋め立て承認取り消しの最高裁判決も持ち出し、辺野古新基地建設問題を巡る県との裁判での〝連勝〟を強調し、工事の正当性をアピールした。（1面に関連）

上名護市辺野古の新基地建設を巡り、県が工事差し止めを求めた訴訟の判決が言い渡された那覇地裁の法廷＝13日午後（代表撮影）下判決を受け記者団の取材に応じる県の謝花喜一郎知事公室長＝県庁

透視鏡

■前のめり

「辺野古移設について認めていただいたという中でしっかりこれからも工事を進めていきたい」。判決を受け13日午後、防衛省で取材に応じた小野寺五典防衛相はこう語り、前のめりの姿勢で新基地建設が認められたとの認識を示した。

だが今回の裁判は辺野古新基地建設の是非を問うものではない。発言の真意を問われた小野寺氏はすぐに訂正。「正確には岩礁破砕について国の主張が認められた。辺野古移設への工事を進める一つの後押しになる」と軌道修正したが、今回の裁判で辺野古新基地に司法がお墨付きを与えたと喧伝しようとする政府の本音を吐露した格好だ。

「県は許可が必要だと言うなら、ちゃんと法手続をするように公権力を行使すればいいだけだ。裁判に持ち込む話じゃない。却下は妥当だ」と、防衛省幹部は判決の受け止めを淡々と語る。国は、県の4度にわたる行政指導を無視しているが、それがなかったかのようにこううそぶいた。

■余裕の裏で

勝訴で余裕を見せる国だが、実際の岩礁破砕行為のスケジュールは明らかにしないなど、慎重な姿勢も示す。今回の裁判でも国は、漁業権を巡る真正面からの勝負を避けた。県が漁業権の見解を変えた理由を説明するよう国に「求釈明」を求めたが、国はこれに応じなかった。

県はこれら国の対応から「漁業権の議論に入りたくないのは国の方」見る。漁業権について判断を避けた今回の判決についても県幹部の一人は「実はほっとしているのは国の方かもしれない」と語る。県幹部は「判決は、漁業権について県の主張を否定したわけではない。県は、負けは負けだが無傷の負けだ」と語り、控訴を含め、今後もあらゆる手法を駆使し工事阻止に取り組む姿勢を強調した。

「勝訴」を喧伝する国だが、表面上の高揚感とは裏腹に、13日の判決後も、県側の控訴や埋め立て承認撤回を見据え、省内では担当職員らが会議を続けていた。

（仲村良太、仲井間郁江）

「自衛隊保持」明記へ

自民9条改憲 2項維持案あす提示

自民党の憲法改正推進本部（細田博之本部長）は、戦力不保持などを定めた憲法9条2項を維持しながら自衛隊の存在を明記する改正条文案に関し「必要最小限度の実力組織として自衛隊を保持する」と盛り込む方向で最終調整に入った。安倍晋三首相（党総裁）の意向に沿った案で、現行9条と別立ての「9条の2」を新設する。細田氏らは14日の執行役員会を経て15日の全体会合で正式提示し、この案で意見集約を目指す。党関係者が13日、明らかにした。

首相は自身の改憲提案の目的として、自衛隊違憲論の払拭を挙げてきたことから「自衛隊」の文言を明示する必要があると判断した。党内では石破茂元幹事長らが2項を削除して自衛隊の存在を明記する案を主張しており、理解を得られるかどうかが焦点となる。

細田氏や推進本部特別顧問の高村正彦副総裁らは13日、9条改正の条文案を巡って党本部で協議。参加者の一人は「大部分まとまった」と説明した。推進本部は「国防軍」創設を掲げた2012年党改憲草案や、石破氏の改憲案、2項を維持して「自衛権」を明記する案も同時に示して議論する。

憲法9条

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

「隠蔽許すな」

「森友」改ざん、国会前抗議

財務省による森友学園問題を巡る決裁文書改ざんに抗議する人たち＝13日午後、国会前

学校法人「森友学園」を巡る財務省による決裁文書改ざんに抗議する集会が13日も国会前で終日続いた。「疑惑の隠蔽、許さない」「文書の改ざん、徹底追及」。集まった市民は怒りのシュプレヒコールを上げ、安倍晋三首相や麻生太郎財務相らの辞任を求めた。（1面に関連）

参加した東京都中野区の主婦大岡薫さん(65)は「政権は財務省の一部職員に責任を押しつけ、逃れようとしている。市民が行動し抗議の声を上げることが重要だ。毎日来たい」と話した。

この日朝から官邸に向けられた抗議の声は、日が沈んでも途絶えなかった。東京都町田市の井上佳昭さん(66)は「安倍政権は『丁寧に説明する』と言いながら、権力を背景に国民をだまし続けてきた。政権に正当性はない」と憤った。仕事帰りに駆け付けた東京都江東区の男性会社員(59)は「常識的に考えれば、政治家が辞任せずに済む話ではない」と語気を強めた。

識者評論

漁民提訴なら議論に道

熊本 一規氏（明治学院大教授）

県が国を相手に岩礁破砕の差し止めを求めた訴訟で、裁判所は「争訟」がないとして、県の訴えを却下した。県は名護漁協が漁業権の消滅に同意する決議だけでは海域の「入り口論」で終わってしまった。

県の主張は従来の政府答弁書などを踏まえよく整理されていたが、県は漁業者として漁業権を行使している立場ではない。県が持っている権利が侵害されたわけではないため、工事の差し止めにつなげるのは難しかったと考えられる。

一方、今回の裁判では漁業権の変更を巡る具体的な議論が行われなかった。漁協が総会で漁業権を一部放棄することを決議したことを根拠に漁業権が消滅したという国側の見解が、今回の判決で支持されたわけではないことを意味する。

国は今回、長年維持してきた漁業権を巡る解釈を変えた。明らかに国の方がおかしく、この法解釈は戻す必要があるだろう。

辺野古での漁業権確認を巡る裁判は本来、権利を侵害されて工事が進むと具体的な被害を受ける漁民が訴えるべきだ。地元の漁民が司法で闘えば「争訟」の壁を乗り越えて議論が行われる見込みがある。

その意味では地元住民を中心に設立の動きがある「名護市東海岸漁協」が認可されることで議論の途が開けることになる。

（漁業法）

県選出・関係国会議員

与野党で評価割れる

【東京】岩礁破砕を巡る訴訟判決で県の訴えが却下されたことについて、県選出・県関係国会議員の受け止めは与野党で分かれた。

赤嶺政賢衆院議員（共産）は「県は水産庁の漁業関係法令の解釈に基づいて、辺野古工事の違法性を訴えた。国の暴走に追随する不当判決は容認できない。法律の解釈を勝手に変更しても司法が正せないならば、この国は独裁国家になる」と批判した。

照屋寛徳衆院議員（社民）は「門前払いの不当判決に強い怒りを覚える。安倍政権の下で三権分立が三権一体と化し、司法は死んだ。辺野古大浦湾の貴重なサンゴ礁や生態系を殺し、美ら海を破壊する辺野古新基地建設に今後も反対していく」と強調した。

玉城デニー衆院議員（自由）は「県知事の有する許可権限を踏まえず岩礁破砕行為を断行しようとする国に対する訴えであると同時に、平和に暮らしたい県民の思いが込められた訴えでもある。尊厳を踏みにじるかの判決は甚だ遺憾であり認容しがたい」と訴えた。

西銘恒三郎衆院議員（自民）は「県の裁判闘争は、あまりにも政治闘争に傾斜し過ぎだ。法律に基づく行政実務の観点から、裁判所の判断は当然だ。知事責任だ」とコメントした。

国場幸之助衆院議員（自民）は「埋め立て承認訴訟で最高裁は県側敗訴を確定し、地方公共団体が行政上の義務の履行を求める訴訟は起こせない判例があり、漁協は漁業権の放棄を決議した以上、県側敗訴となるが、法廷闘争より対話が必要だ」と指摘した。

下地幹郎衆院議員（維新）は「司法の場に辺野古を委ねること自体が間違っていた。辺野古移設を断念させるためには、司法ではなく『政治の交渉力』が必要であっただけに、政治不在となった現状に納得できないのは私だけではないだろう」とした。

糸数慶子参院議員（沖縄の風）は「地方自治をないがしろにした政府におもねる不当判決。岩礁破砕許可を申請せず工事を強行する姿勢は、正規の手続きを無視する安倍政権の体質そのもの。今後も新基地建設に係る全ての工事の即時中止を強く求めていく」と訴えた。

伊波洋一参院議員（沖縄の風）は「県の訴えが却下されたことは残念だ。米軍には日本環境管理基準で希少サンゴの生息域保護が義務付けられている。辺野古新基地建設は環境破壊そのもので、政府には環境管理基準を米軍に守らせるよう求める」とコメントした。

儀間光男参院議員（維新）は「移設問題を法的手段で相争う状況を呈しているのは極めて遺憾だ。総理の県民に寄り添うという言葉を踏まえると、政治的解決を目指すのが筋だ。県と政府は原点に立ち返り基地の整理縮小の在り方を協議すべきだ」と求めた。

県内政党・会派コメント

知事は県民にわびを

自民党県連

翁長知事は埋め立て承認取り消しを取り消し、埋め立てを承認し、工事を進めさせ、今回の県の差し止め訴訟も却下され、県は敗訴した。県民に失望感を与え続けている。翁長知事の責任は重大で、県民にわびをいれるべきだ。

権力挙げ民意を無視

社民党県連

なりふり構わず辺野古新基地建設を強行する政府の延長線上に立つ岩礁破砕判決に失望する。権力ぐるみで民意を無視し、従来の法解釈までねじまげるやり方は、地方自治の破壊でしかない。県民は決して、屈することはない。

法と道理無視の判決

会派おきなわ

岩礁破砕差し止め訴訟判決は法と道理を無視した不当判決だ。現在の日本は三権分立、立憲主義とは名ばかりの安倍独裁国家だ。子や孫への責任として県民は決して権力に屈しない。新基地建設を阻止するため翁長知事を全力で支える。

新基地断念まで戦う

共産党県委

実質審理を回避し、無許可で岩礁を破壊する国の違法行為を認めることは法治国家として断じて許されないことで、法の道理と正義を放棄した不当判決だ。わが党は県民と固く団結し、翁長知事を支え、新基地建設断念まで戦う。

政治的解決へ道筋を

公明党県本

那覇地裁は県側の訴えを却下した。これで辺野古移設を巡る国と県の訴訟は5度目となり、この問題が司法の場で解決が図れるのか厳しい状況である。県は対立するだけではない、政治的解決への道筋を構築する必要がある。

判断避けご都合主義

社大党

司法は判断を避けた。そもそも国が岩礁破砕許可に対する解釈を国の都合のいいように勝手に変えたことが問題であり、ご都合主義と言わざるを得ず、言語道断だ。政府は違法な辺野古新基地の埋め立て工事を即刻中止せよ。

知事の不在は残念だ

日本維新の会県総支部

法治国家である以上、裁判結果は重く受け止められなければならない。裁判の勝訴、敗訴にかかわらず、県が国を相手に起こした裁判であり、翁長知事がこの時期に沖縄におらず、沖縄でコミットメントできないことは残念だ。

県の主張審議されず

自由党県連

県の主張が少しも審議されず非常に残念。岩礁破砕の許可期限が切れた後も県に何ら打診もなく工事を強行する国の姿勢は「県民に寄り添う」との発言と相入れない。国の県民に対する態度は問われ続けるべきだ。

稚拙工事は変わらず

民進党県連

県が行政上の義務の履行を求める訴訟を起こせないとの一審判決だが、これはあくまで行政上の手続き論だ。安倍政権が強行する、他国に領土を明け渡す工事が稚拙であることに変化はなく、辺野古移設断念という正義を求めていく。

大飯3号機がきょう再稼働

原発新基準6基目

関西電力は13日、大飯原発3号機（福井県おおい町）を14日午後5時ごろ再稼働させると発表した。原発の新規制基準下での再稼働は4原発6基目。大飯3号機は2012年7月、当時の民主党政権が定めた暫定基準に基づきいったん稼働し、13年9月に定期検査で停止。運転は4年半ぶりとなる。営業運転開始は4月上旬の見込み。

福井県内では、大飯原発から約14キロ西にある関電高浜3、4号機が昨年再稼働し、営業運転中。東京電力福島第1原発事故があった11年以来、初めて近接する複数の原発が同時に稼働することになるが、事故時の住民避難計画は同時事故を想定していない。

関電によると、14日午後5時ごろ、制御棒を引き抜き、原子炉を起動させる予定。順調に進めば、15日未明に核分裂が安定的に持続する「臨界」に達し、16日に発電と送電を始める。

不正資金出張「確認は困難」

福井沖縄相がコメント

福井照沖縄北方担当相は13日、後援団体の関係者が不正な投資事業で得た資金で海外出張費を賄った可能性があると野党議員から指摘されたことについて「当時の資料は残っておらず、事実確認は困難だ」とのコメントを発表した。

同時に「私が関与していないところで、団体関係者が負担していた可能性も否定しきれない」とも説明。新たな事実が判明すれば、適切に対応するとした。

一部週刊誌に報じられた過去の不倫疑惑については「深く反省する」と認めた。

県首脳・市長 主要日程（14日）

【翁長知事】米国出張
【浦崎副知事】終日事務調整
◇
【城間那覇市長】10時森兵次沖縄国際トライアスロン大会実行委員長来訪▽11時監査結果手交及び意見交換
【桑江沖縄市長】9時15分比謝川をそ生させる会より沖縄こどもの国への寄付金贈呈
【島袋うるま市長】10時30分県消防防災ヘリコプター調査検討委員会▽15時石川漁業協同組合より島ふーどグランプリ「優秀賞」受賞報告
【松本浦添市長】出張・横浜視察
【佐喜真宜野湾市長】10時市議会定例会▽13時読売新聞インタビュー対応
【渡眞知名護市長】9時15分永井宏ナガイトレーニングアカデミー主宰来訪▽10時市議会定例会
【宜保豊見城市長】10時市議会定例会一般質問
【上原糸満市長】10時市議会定例会一般質問
【下地宮古島市長】9時市景観審議会答申
【瑞慶覧南城市長】10時陸自知念分屯地司令および空自知念分屯基地司令来訪

県内のPM2.5

▶きょうの予報

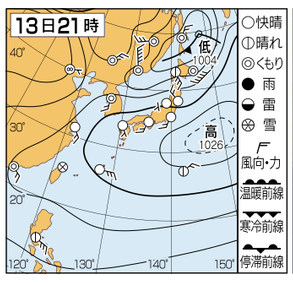
6～12時	少ない
12～18時	少ない
18～24時	少ない
あす	少ない

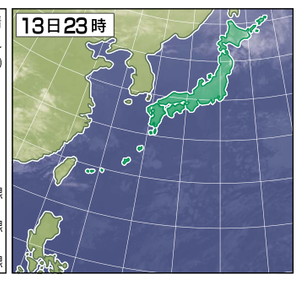
▶きのうの観測値
13日1～18時の平均（暫定値）

環境基準値 35 μg/㎥

名護	11
沖縄	7
那覇	9
宮古島	11
石垣	14

情報提供：「SPRINTARS」開発チーム、県環境部





【概況】沖縄地方は高気圧に覆われ各地で晴れるが、湿った空気の影響で先島地方を中心に雲が広がりやすく、与那国島地方は夜に雨の降る所もある。東から南東の風が大東島地方を中心にやや強く吹く。海上は、波がやや高い。（13日23時発表）

あすの風向・風速・波高

北部	南東	9	2
中南部	南東	9	2
久米島	南東	9	2
大東島	東	10	2
宮古島	南東	9	2
石垣島	南東	9	2
与那国	南東	9	1.5

全国の天気 札幌 新潟 仙台 東京 名古屋 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島